

第39号  
2008.4

男女共生社会推進センター

# “いいぶる”

～男女共生社会づくり～



## CONTENTS

「特集」

- ①・② デートDV防止研修
- ③・④ 講座レポート
- ⑤ りいぶるdeさんかくトーク  
ふるむ伊都振興局
- ⑥ 気になるキーワード  
男女共同参画推進事業者訪問
- ⑦ 募集/図書情報資料室から  
参画課いんふおめーしょん

## “いいぶる”相談室から

～あなたはあなたのままで～

“りいぶる”では、女性が抱える様々な悩みを受けとめ、自分らしく生きるためのサポートをしています。先ずはどんなことでもお電話ください。

相談専用電話 **073-435-5246**

- ◆総合相談◆ 毎週月～土曜日 [面接相談] 9:00～17:30 [要予約]  
[電話相談] 9:00～20:30
- ◆女性のためのカウンセリング◆  
毎月第1～3金曜日 13:00～16:40 [要予約]
- ◆女性のための法律相談◆  
月3回 13:00～16:10 [要予約]

NGO「アウェア」代表の山口のり子さんを講師にお迎えして、「デートDV防止研修」を開催しました。

平成20年1月31日に東牟婁振興局、2月27日に那賀振興局、そして2月28日に「りいぶる研修室」と県内3カ所で開催しました。

## 1 DV (ドメスティック・バイオレンス) とはどのようなものでしょう。

身体的暴力	殴る。蹴る。髪の毛をひっぱる。物を投げる。	
精神的暴力	脅す。怒鳴る。相手をバカにする。	
性的暴力	性行為を強要する。避妊しない。アダルトビデオを見せる。	
経済的暴力	お金を渡さない。借金をさせる。	等がDVです。

DVは、親密な関係にある人への「暴力」です。人権侵害であり犯罪にもなります。また、その行為を繰り返すことで相手を縛り、コントロールし、自信をなくさせます。その内、「うつ」症状になる人もいます。

## 2 では、「デートDV」とはどのようなものでしょうか。

若い人たち中高生や大学生の間で起こっている「暴力」です。けれど、当人はそれが「暴力」だとは気がついていません。

- 勝手に携帯のメールを見る。メールを消去する。
  - 行動を制限する。友人と会わせない。孤立させる。
  - 性行為を強要する。アダルトビデオを見せる。
- 等がデートDVです。

## 3 「デートDV」の特徴は。



相手男性の「暴力」を「私への愛情表現」と思いこみ、「こんなに愛されている。」と勘違いしているケースが大変多くあります。

## 4 学び落としましょう。

デートDVは次の要因で起こります。誤った認識に気づき、自分のものとなるよう学ぶことが大切です。

### 力と支配

- 力により支配する相手を思いどおりに動かす。
- 普通のことなんだと学んでしまっている。

### 暴力を容認

- 本人が気づき決意し、努力しないと変わらない。
- 愛情があればOK、しつけならOKの過ち。
- 男性の暴力に甘い社会。

### ジェンダーバイアス(社会的性別の偏見)

- 刷り込まれた男らしさ、女らしさ。
- 日常生活のありとあらゆるものに織り込まれている。

間違っている危険な関係に気づくことで学び落としましょう!



### 山口のり子さん紹介

山口のりさんは、特に海外生活が長く、シンガポールでは女性支援の仕事を通じてDV被害者やセクハラ被害者の支援や裁判支援に関わって来られました。また、ロサンゼルスで大学院では、臨床心理学を学ばれるとともに、DV加害者プログラムのファシリテーター向けのトレーニングなどを受けてこられました。帰国後、2002年に“アウェア”を立ち上げられDV加害者プログラムを、更に翌年には、デートDV防止教育を始められました。現在、これらDV加害者プログラムやデートDV防止教育などについて、各方面で精力的に講演活動や執筆活動を行っていらっしゃいます。

## 相談員養成講座(入門編)

平成19年11月30日から平成20年2月1日までの間に8回の相談員養成講座を実施しました。フェミニストカウンセリング界の藤原暁子さんによる「アサーティブトレーニング」「電話相談の考え方と実践」と、宮野由起子さんによる「フェミニストカウンセリングとは」「女性の状況をジェンダー分析する」「DV・性被害の現状と対応」「児童虐待の現状と対応」について講義していただきました。

この講座を通じて相談員としてのスキルを身につけ、サポートすることの重要性を学びました。また、ワーク形式にすることで参加者の考え方・見方の違いが理解でき、対応の難しさを改めて感じながら、みんなで楽しく学びました。



りいぶる  
主催講座

## 魅力アップセミナーを開催しました。

日時：平成20年2月15日(金) “わたしの魅力”を引き出すコミュニケーション  
平成20年2月22日(金) 「マナー」で人間関係力アップ  
講師：吉田 真知子さん(ソーシャルスキルプログラム代表)

人生は自分が主役です。自分をプロデュースしてくださいとお話されました。そして自分をプロデュースするために①アイコンタクト②笑顔③明るい声と発音④あいさつ+ひとこと⑤心&ファッションのおしゃれの5つのポイントを教えていただきました。魅力アップをするために参加者全員で口角運動とワークをして和やかな講座となりました。

りいぶる  
主催講座

## チャングムの挑戦とわたしたちを開催しました。

日時：平成20年3月7日(金)  
講師：金 香百合さん(ホリスティック教育実践研究所所長)

NHKで放映された韓国歴史ドラマ「宮廷女官チャングムの誓い」を教材にして「どうしたらあわせにいきいきと生きられるのか」についてお話していただきました。

自身の将来は自分で選んでいくこと。自分の夢に向かって生きていくこと。そして夢は雪だるま式にふくらませながら実現していくことを学びました。

参加者の皆さんからは、「チャングムの話をもとに身分制度、性差別、男女共同参画まで幅広くわかりやすく大変よかった。」などの感想をいただきました。



## りいぶるわいわいサロン

### 「学んでみよう!読み聞かせ」～朗読力アップで楽しむ子育て、孫育て～



和歌山放送ラジオ朗読教室のボランティアの皆さんを講師に招き、昨年10月4日から今年3月6日まで計10回にわたり、読み聞かせ講座を開催しました。発声練習から絵本、紙芝居など、毎回様々な教材を使い和気あいあいと、読み聞かせに取り組みました。最終回には参加者の皆さんが思い思いの絵本を持ち寄り、読み聞かせ発表会を行いました。「幅広い年代の方が参加されていて楽しかったです。」「今後、活かしていけたらと思いました。」などの感想をいただき全日程を終了しました。

### 「子育て支援を語ろう会」～伝えて!伝えて!広げよう、子育て支援の輪～

ゲストスピーカー 和歌山信愛女子短期大学学長補佐 室 みどりさん

昨年12月22日(土)、和歌山信愛女子短期大学保育科の学生さんたちが子育て支援について調査しプレゼンテーションを行いました。その後、参加者の皆さんを交え、子育て支援についてグループディスカッションを行い、最後に各グループから意見発表が行われました。参加者の皆さんからは「普段聞けないいろんな意見を聞けました。」「学生さん達もがんばっていい先生になって欲しいです。」などの声が聞かれ、有意義な交流会となりました。



### 「女性のためのネット活用術」～インターネットで広げよう、あなたの世界～

ゲストスピーカー アクト研究室主宰 鳥淵 朋子さん、LEO NET 堀 久美さん



1月19日(土)、インターネット検索を中心に、情報活用の入口講座を開催しました。上手に検索するためには、一人ひとりが持っているアンテナと検索キーワードの対応が大切であること、ポータルサイトを利用すれば的確に検索できることなど、大切なポイントを教えて頂きました。りいぶるの図書情報資料室も巡回しました。参加者の皆さんからは「前から興味があった検索についての話しが聞けてとても参考になりました」などの感想もいただき、大変好評でした。

## 「りいぶるマスターコース」開講しました

県内各地で男女共同参画に取り組んでいる方を対象に、男女共同参画学習講座(中級編)を開講しました。1月から2月にかけての5日間、22名のみなさんが熱心に受講しました。

講師には、大阪府立大学教授の伊田久美子さん、戦略マーケティング研究所ケイ・ファクトリー主宰の佐野智世さん、鹿児島よりオフィスピュア代表のたもつゆかりさんなど素敵なロールモデルの方々をお迎えしました。変わりゆく社会情勢



の中で、なぜ男女共同参画の推進が必要なのか、男女共同参画基本法から地域との関わりかた、人生の道づくりのキャリア形成、NPO活動など、学びを深める機会となりました。

受講後の感想では「男女共同参

画の意味、男女共同参画基本法がいかに大切であるかを再認識しました。

社会問題となっているさまざまな事件も、根源には男女共同参画の意識が確立されていないことによる背景も多いと思います。私自身も問題につきあったら、今まで蓄積した知識と新しく学んだ知識をフル回転しながら何歳になっても行動&解決していきたいです。」「地域を元気に、活性化するためにも、原点に立ち戻り男女共同参画の推進に取り組んでいきたいです。」など、嬉しいコメントをいただきました。一緒に学んだ方同士で新しい交流もうまれたようです。受講生のみなさん、5日間のご参加どうもありがとうございました。



## チャレンジカフェ★春イベント

### みちこ マダム路子講演会 「才色健美でHAPPYに♪」

菜の花が満開の3月15日(土)に、魅力心理学研究家のマダム路子さんをお招きして講演会を開催しました。女性の活躍の場所や機会が広がる今、元気に魅力的に、また知的に年齢を重ねていくためのヒントを「現在のご自分、今の私を基点とし、1年後、5年後、10年後と一生を通じ、内面美と外面美

を調和させ、魅力の領域を広げていく意志を持つことが才色健美の条件。人が持つ魅力の資質を引き出すこと、今が一番キレイであること、自立した人間であることなどが魅力学の基本。みなさんでいつまでも才色健美をめざしましょう!」とお話されました。



## 移動りいぶるチャレンジカフェ 県内7地域におじゃましました!

昨年9月からこの3月にかけて、チャレンジカフェ&チャレンジ相談でみなさまの地域へおじゃましました。「りいぶるまでは遠くて・・・」「子どもが小さいので、近くで開催してくると便利」という声もいただきました。キャリアコンサルタントの資格をお持ちの先生が相談にのってくれるチャレンジ相談で

は、「再就職・どんな仕事に向いているのか適性判断、仕事と家庭の両立、起業に向けての準備は?」などに関してご相談いただける機会となりました。遊びに来られた方同士が交流されたり、情報交換される姿も見かけられました。平成20年度は、県内の3地域で開催する予定です。

## 男女平等意識啓発セミナー

### ジェフ・バーグランド講演会 「異文化コミュニケーションが つなぐ女(ひと)と男(ひと)との ハーモニー」



雪がちらついた2月16日(土)、有田川町きびドームにて男女平等意識啓発セミナーを開催しました。講師には、関西を中心にテレビ等で活躍されている大学教授のジェフ・バーグランドさんをお迎えし、「自分と立場の違う人に、自分の意思をどう伝えるか、女性と男性の違いを認識した上で分かり合おうとすることが大切!」とわかりやすい例を交えた笑いとユーモアあふれるお話に熱気あふれたセミナーとなりました。有田地域にある共

同作業所の皆さんもチャレンジショップ出店で、手作りパンや安心素材のコロッケ、おからクッキーなど、おみやげも充実。広川町在住のシンガーソングライター ヒロノコテツさんのウェルカムソングでは、この日のために書き下ろしてくださった「黄金花」で会場も大いに盛り上がりました。パワーあふれるさわやかな歌声に、勇気と元気をいただきました。地域のみなさんの温かいご協力に支えられた1日でした。みなさんありがとうございました。



あなたがまちを元気にする!

# りいぶるdeさんかくトークを開催!



県内7地域で「りいぶるdeさんかくトーク」を開催しました。  
地域のニーズに応じたテーマで  
講演とワークショップを実施しました。

「あなたがまちを元気にする!」のコンセプトどおり、ワークショップでは活発に意見交換が行われました。自分たちのまちを元気にするためにできることは何かをグループで話し合い、発表しました。

会場	テーマ	講師
海草	とも(男女)に元気な農業づくりを	橋本 卓爾(和歌山大学教授)
那賀	これからのパートナーシップって何やる?	小川真知子(コマーシャルの中の男女の役割を問直す会 世話人)
伊都	あたりまえってホントにあたりまえ?	船越 勝(和歌山大学教授)
有田	歴史を彩った女性たちと21世紀に生きる女性	川岸 光司(有田地方文化財団研究会長)
日高	女性のライフプランを考える	垣 由起(ファイナンシャルプランナー)
西牟婁	家族経営協定における、よりよいパートナーシップをめざして	鈴木真由子(大阪教育大学准教授)
東牟婁	家族経営協定における、よりよいパートナーシップをめざして	鈴木真由子(大阪教育大学准教授)

\*「りいぶるdeさんかくトーク」のグループワークやアンケート結果をまとめて報告書にしています。  
報告書については、「りいぶる」までお問い合わせください。

## ふるむ伊都振興局



伊都地方では1月22日(火)に「りいぶるdeさんかくトーク「あたりまえって、ホントにあたりまえ?」」が、JA紀北かわかみ本店 別館で開催されました。

和歌山大学教育学部 教授 船越 勝さんを講師に招き、30名の方が参加されました。

船越さんから「ワークショップではジェンダー・バイアス(性差に基づく偏った考え方)を探し、根拠のないものや、思い込み過ぎないものについて

- ①ここが問題!!の発見
- ②自分たちならどうする!?

を話し合ってください。」との説明がありました。

ワークショップの前に、プロジェクト2000あらんなメンバーによる、男女共同参画パフォーマンスで、日頃、家事、子育て、家庭生活の中で「あたりまえ」と思っていたことについて疑問を持っていただきました。

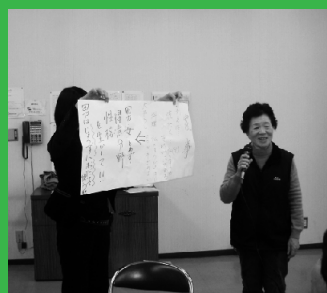
## あなたがまちを元気にする! りいぶるdeさんかくトーク 「あたりまえって、ホントにあたりまえ?」

ワークショップでは、これらのことを踏まえて、和気あいあいと活発な意見交換が行われました。

ワークの途中、船越さんから「男性にも家事・育児の力を身につけるチャンス。」との説明があり、更に意見交換に熱を帯びてきました。

最後の各グループからの「今、私たちにできること」についての発表では、「私も地域の役に立ちたい。」との決意発表がありました。参加者の方々がいろいろな「気づく・学ぶ・考える・そして実践」を習得されたようでした。

講師の船越さんをはじめ、開催に当たりご協力いただきました皆さん、そして、さんかくトークに参加していただいた皆さん、ありがとうございました。



気になる

# キーワード

## ワーク・ライフ・バランス -仕事と生活の調和-

最近、よく耳にする「ワーク・ライフ・バランス」。「仕事と生活の調和」とも言われ、「一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できること」が今、必要とされています。

出産のために仕事を辞めなければならない、長時間労働で家族の団らんを持ってないなど、仕事と生活の間で問題を抱える人が多く見られます。これまでの働き方では、個人、企業、組織、社会全体が持続できなくなってきたのです。

男性も女性も、人生の段階に応じて多様な生き方が選択できるワーク・ライフ・バランス社会の実現へ向けて、様々な職場で新たな取り組みが始まっています。



## 男女共同参画推進事業者訪問

このコーナーでは、県に登録された事業者さんから直接お話を伺い、その取り組みぶりなどを紹介します。

### カドノエデュケーショングループ



代表取締役 角野 寛典さん 4つのグループ会社のうち、今回は特に教育部門についてお伺いしました。

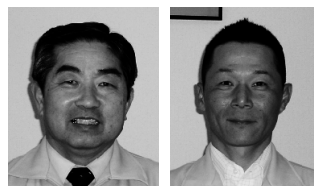
カドノエデュケーショングループは、学習塾や人材派遣など幅広く事業を展開しており、4つのグループ会社で、あわせて100名の社員がいます。管理職は約20名で、女性が4割を占めています。

幼児～シニアまであらゆる年代層に対して学習の場を提供しており、昨年「Webスクール」という、パソコンを使って自宅で学習できる新しい取組も始めました。受講時間についてのニーズは多種多様で、社員の勤務時間も一様ではありません。そのため、フレックスタイム制や在宅勤務を取り入れ、社員が自分に合った働き方を選択できるようにしています。さらに、この制度を利用して産休・育休明けには在宅勤務からスタートをすることも可能で、自分のペースで職場復帰できます。

セクハラ対策については、女性管理職が相談窓口になって対応しています。窓口にあたる人に対し、年に数回セクハラに関する研修を実施しており、安心して働くことのできる職場づくりに努めています。

代表取締役の角野さんは「少子高齢化社会を迎え、優秀な人材の確保が難しくなっている今、企業にとっても男女共同参画は欠くことのできないものです。この事業者登録を機に、より一層男女共同参画に取り組んでいきたいと考えています。」とお話されていました。

### 阪和電子工業株式会社



総務部長 出口 龍正さん 総務部主任 西出 陽一さん

阪和電子工業株式会社は、半導体デバイスの解析装置や各種試験器の開発・製作を行っており、特に静電気放電検査装置については国内シェア70%を誇っています。

さて、そんな阪和電子工業株式会社では昨年まで、採用の応募条件を理工学部卒に限定していましたが、平成20年度採用からは、全学部卒を対象にして幅広く門戸を開放することにしました。男女ともに、より優秀な人材の確保に努めたいと考えたからです。

さらに、阪和電子工業株式会社では、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）のとれた会社を目指し、有給休暇を“誕生日休暇”や“結婚記念日休暇”と名付けて、それらを積極的に取得するよう、従業員に促しています。総務部長の出口さんは「やはり家庭の充実が仕事の充実。従業員には家庭生活を大切にするように話しています。」と語られ、「私も率先して誕生日休暇をとるようにしています。」と話されました。

セクハラ等の対策については、総務部に窓口を設けると共に、従業員とのコミュニケーションを欠かさないようにしています。日頃からコミュニケーションがとれていれば、セクハラだけでなく様々な相談についても話しやすい雰囲気が生まれると考えているためです。

「これから企業としてどのように成長していきたいですか。」との問いに「まだまだ私たちの会社について、知らないと言われることも多いので『地域に開かれたオープンな企業』でありたい。そして地域とのつながりを大切にしながら発展していきたい。」とお話されていました。

## “りいぶる”ブックレビュー・ボランティア募集

図書情報資料室の新作図書案内紙をボランティアで作成していただけるスタッフを募集します。  
詳細はりいぶるまでお問い合わせ下さい。

- 募集期間／平成20年4月1日～30日
- 対象／図書に興味のある方ならどなたでも。
- 募集人数／20名程度。
- お問い合わせ

和歌山県男女共生社会推進センター“りいぶる”  
企画課 電話：073-435-5245

## ちょっと聞いてよ! 出張講座

りいぶるでは、男女共同参画を推進するため、事業所、団体やグループの研修会などに講師を派遣します。

### <テーマ例>

- ①「男女共同参画って?」
- ②「職場のセクシュアル・ハラスメント」
- ③「ドメスティックバイオレンス」

### ■お申し込み・お問い合わせ

和歌山県男女共生社会推進センター“りいぶる”  
啓発課 電話：073-435-5245

## 図書情報資料室から

## おすすめ新着図書紹介



**地図でみる日本の女性**  
武田祐子、木下禮子編著／明石書店  
2007年3月発行

DVの多い地域はどこ? 保育所不足が深刻な地域は? 地図で見れば一目瞭然。色んなデータが満載。



**セクシュアル・ハラスメントをしない  
させないための防止マニュアル**  
青木 孝監修／小学館 2007年6月発行

個人にも企業にも参考になるセクハラ対策の書。パワーハラスメントについても詳しく解説している。

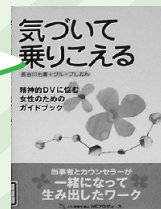
**ハッピー・ワーキングマザーBOOK**  
4000人に聞きました  
ムギ畑編／講談社 2006年10月発行

働きながら子育てをする女性の本音と実情を紹介。ワーキングマザーへのアドバイスも豊富。



**気づいて乗り越える  
精神的DVに悩む女性のためのガイドブック**  
長谷川七重+グループしおん著／人と情報  
を結ぶWEプロデュース 2007年8月発行

言葉の暴力に気づいていくためのチェック項目などを日本人の気持ちに合うよう工夫している。



※“りいぶる”では、このほかにも関連図書・ビデオの閲覧・貸出ができます。お気軽にご利用下さい。

## 青少年・男女共同参画課いんふおめーしょん

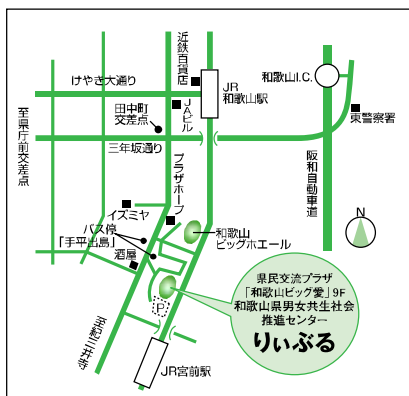
これまで「男女共生社会推進課」として男女共同参画を進めてきましたが、平成20年度から青少年課と合体して「青少年・男女共同参画課」となり両課施策を相乗的に推進していくこ

ととなりました。今後とも和歌山県の男女共同参画行政にご理解、ご協力をよろしくお願い致します。

### 男女共同参画推進事業者を新たに登録しました!

阪和電子工業株式会社(登録番号男女第25号)			
所在地	和歌山市	ホームページ	<a href="http://www.hanwa-ei.co.jp">http://www.hanwa-ei.co.jp</a>
業種	製造業(各種半導体評価用測定器及び検査機の開発製造・販売等)		

- 女性の採用拡大に積極的に取り組んでいる。
- セクシュアル・ハラスメント防止のための相談窓口を設けるとともに、相談しやすい環境作りに取り組んでいる。



### 企画・発行



和歌山県男女共生社会推進センター

〒640-8319 和歌山市手平2丁目1-2  
県民交流プラザ 和歌山ビッグ愛9F  
TEL (073) 435-5245・FAX (073) 435-5247  
URL <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031501/index.html>

開館時間 午前9時～午後8時30分

休館日 毎週日曜日・国民の休日(祝日)、年末年始(12月29日～1月3日)

“りいぶる”では皆さまのご意見、感想、情報をお待ちしています。[メールアドレス]e0315011@pref.wakayama.lg.jpまで